

2024
JULY

No.38

鹿児島大学 同窓会連合会報



南九州畜産獣医学拠点（通称：SKLV、スクラブ）

左：牛舎・鶏舎、右：厩舎・馬場、中：地方創生エリア

特別
寄稿

モンスターラディッシュと呼ばれた“桜島大根”

加治屋 勝子（農学部・研究教授）

『もどっきゃんせDAY』（Home Coming Day）4年振り開催

（水産学部同窓会魚水会）

鹿児島大学同窓会連合会

鹿児島大学同窓会連合会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、鹿児島大学同窓会連合会と称する。

(目的)

第2条 本会は、鹿児島大学の各学部同窓会（以下「各学部同窓会」という。）の連合組織として、鹿児島大学の基本理念の達成に協力し、その発展に寄与するとともに、会員相互の交流及び親睦を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 鹿児島大学との連携及び協力
- (2) 各学部同窓会間の交流及び連携の推進
- (3) その他本会の目的に沿った事業活動

(支部)

第4条 本会に支部を置くことができる。

第2章 会員

(会員)

第5条 本会は、次に掲げる各学部同窓会及び特別会員を持って組織する。

各学部同窓会

- 鹿児島大学法文学部同窓会
- 鹿児島大学教育学部同窓会
- 鹿児島大学理学部同窓会南明会
- 鹿児島大学医学部同窓会
- 鹿児島大学歯学部同窓会
- 鹿児島大学工学部同窓会
- 鹿児島大学農学部あらた同窓会
- 鹿児島大学水産学部同窓会魚水会
- 鹿児島大学共同獣医学部紫友同窓会

特別会員

- 鹿児島七高同窓会

第3章 役員等

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 各学部同窓会からそれぞれ1名
- (3) 代表幹事 1名
- (4) 幹事 各学部同窓会及び鹿児島大学からそれぞれ1名
- (5) 評議員 各学部同窓会からそれぞれ4名
- (6) 監事 若干名
- (7) その他会長が認めた者

(役員を選任)

第7条 会長、代表幹事及び監事は、総会において選任する。

(役員の仕事)

- 第8条 会長は本会を代表して会務を総理する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
 - 3 代表幹事は会務の執行を総括し、事務局を統括する。
 - 4 幹事は本会と学部別同窓会との連絡調整を図るとともに、役員会及び幹事会の構成員として、会務の執行上重要な事項を審議する。
 - 5 評議員は総会の構成員として、重要事項を審議する。
 - 6 監事は業務及び会計の執行状況の監査を行う。

(役員任期)

第9条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、役員に欠員が生じた場合の補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

(名誉会長及び顧問)

第10条 本会に、名誉会長及び顧問を置くことができる。

- 2 名誉会長及び顧問は、会長が委嘱する。
- 3 名誉会長及び顧問は、総会に出席し、意見を述べることができる。

第4章 会議

(会議)

第11条 本会の会議は、総会、役員会及び幹事会とする。

(総会)

第12条 総会は、第6条各号に掲げる役員をもって組織する。

- 2 総会は、次に掲げる事項を審議、決定する。
 - (1) 役員を選任に関する事項
 - (2) 事業計画及び事業報告に関する事項
 - (3) 予算及び決算に関する事項
 - (4) 会則の改廃に関する事項
 - (5) その他会長が必要と認めた事項
- 3 総会は、毎年度1回、会長が招集し、その議長となる。
- 4 総会は、第1項に規定する役員過半数の出席により成立し、議事は、出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(役員会)

第13条 役員会は、会長、副会長、代表幹事、幹事及び監事をもって組織する。

- 2 役員会は、次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 総会に付議すべき事項
 - (2) 本会の運営における重要な業務の執行に関する事項

(幹事会)

第14条 幹事会は、会長、代表幹事及び幹事をもって組織する。

- 2 幹事会は、総会又は役員会において決定した業務の具体的執行計画等を審議する。

第5章 会計

(経費)

第15条 本会の経費は、学部別同窓会の分担金、寄附金等をもって充てる。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

(監査)

第17条 会長は、会計年度ごとに決算書を作成し、監事の監査を受けなければならない。

第6章 事務局等

第18条 本会に、その事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局は、鹿児島大学総務部総務課内に置く。

(雑則)

第19条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この会則は、平成17年4月7日から施行する。

附則

この会則は、平成19年4月6日から施行する。

附則

この会則は、平成30年4月7日から施行する。

附則

この会則は、平成31年4月6日から施行する。

第38号会報(令和6年7月発行)に寄せて

同窓会連合会 会長 富永 茂人



鹿児島大学9学部9研究科を卒業・修了された約12万人のOB、OGの皆様、ポストコロナの社会の中、国内および海外の各界でご活躍されていることとお慶び申し上げます。

鹿児島大学同窓会連合会も昨年4月に対面での懇親会を4年ぶりに再開できました。

今年、令和6年度も鹿児島大学入学式(4月5日)直後の4月6日(土)に総会・懇親会(卒業生の集い)を開催しました。総会では活発な審議が行われました。一方、懇親会では福岡支部長のご出席も含め、昨年より多い約110名の出席者数となりました。コロナ前よりは少なめでしたが、卒業・修了学部を越えた和気あいあいとした賑やかな「卒業生の集い」になりました。

さて、同窓会連合会としての活動も「新型コロナ禍」により3年間活動を制限されましたが、幹事会および役員会は連合会事務局を担っていただいている鹿児島大学総務部総務課基金・渉外係のご努力によりメール会議等を活用して途切れることなく行われてきました。今後は、連合会を構成している9学部の同窓会が連携して、卒業・修了生だけでなく、現役の学生や院生の教育・研究・就職活動に対して積極的に貢献して鹿児島大学の名声を全国的に広げていくような活動をしていきたいものですが、そのためにはどのような活動を行っていけばよいのか?これから十分考えて行かなければならないと自覚しております。

さて、鹿児島大学同窓会連合会は、鹿児島大学の全学部の学部や卒業年次を越えた縦横のOB・OGの絆を深めるとともに、母校鹿児島大学の教育・研究・就職活動に貢献する組織として2004年1月16日に準備会を結成し、翌2005年4月7日に(まだ未設置であった共同獣医学部を除いた)8学部の連合体として設立されました。すなわち、来年2025年で20周年を迎えることとなります。発足後、同窓会連合会としては、全国で活躍されている卒業生の皆様のご協力のおかげで「連合会独自の活動」や「母校・鹿児島大学と連携した活動」を順調に発展させてきました。来年迎える20周年にあたって記念のための活動(2025年7月発行予定の同窓会連合会報第40号を「設立20周年記念号」とする、「2025年総会・懇親会」において20周年記念講演を行うなど)を連合会幹事会で企画・準備することを役員会で決定し、総会でもご承認いただきました。

2019年からの新型コロナウイルスパンデミックによる約3年間の活動の中断もありましたが、設立20周年を機に更なる発展が期待される所です。是非、卒業生、修了生の皆様のご協力と力強いご後援をお願い申し上げます。

最後に、皆様のますますのご健勝と発展をお祈りいたします。

目 次

第38号会報(令和6年7月発行)に寄せて	1
学長挨拶	2
鹿児島大学の近況	3
各学部同窓会活動報告	7
各支部の活動報告	16
特別寄稿(農学部、水産学部)	17

学 長 挨拶

鹿児島大学長 佐野 輝



鹿児島大学同窓会連合会の皆様、お元気でご活躍のことと存じます。日頃より本学の教育・研究並びに大学運営等に関しまして、ご理解とご協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

さて、本学におきましては、今春4月5日に、鹿児島県総合体育センター体育館において、令和6年度入学式を挙行了しました。学部1,918人、大学院590人、合わせて2,508人の入学生を迎えました。5年ぶりとなる総合体育センター体育館での開催ということで、開催方法を「ここはどうしていたか？」などと思い出すことも大変な状況もありましたが、やはり2,500人からの新入生が家族とともに集い、喜びが溢れる式典は、本学にとってなくてはならないものと実感する次第でした。入学式を巡っては、3日夜半に、何者かから、式会場と大学を爆破するとの爆破予告がありましたが、5日朝は大学職員や警察関係者が、不審物がないか会場を見回るなど安全を確認した上で、式を予定通り無事行うことができました。また、4月6日には、同窓会連合会総会と懇親会も開催されました。懇親会では、たくさんの参加者の皆様のお顔は喜びに満ち、笑顔での懇親が活発に行われる姿を拝見することができ、満足感を覚えるエピソードとなりました。

総会でもご報告しました「鹿児島大学の近況」については別稿で掲載されることとは存じますが、ここでも少しだけ触れさせていただこうと思います。まず、私、佐野輝が務めます学長の任期はあと1年を残すのみとなりましたので、ここにご報告します。残された期間は、学長としての任に最後まで邁進し走り抜きたいと存じますので、皆様のご協力を是非ともよろしくお願い申し上げます。新年早々に発災しました能登半島地震に対しましては、DMAT（災害派遣医療チーム）をはじめとした数多くの医療チームを大学病院から派遣し、また、学内で集めました義援金を日本赤十字社を通じて送らせていただきました。大学の事業といたしましては、本年4月から全国の畜産・獣医学生を対象に実践的な畜産獣医学教育を提供する曾於市旧財部高校跡地に開設しました共同獣医学部附属南九州畜産獣医学教育研究センター（通称：SKLV（スクラブ）センター）の本格運用を開始しましたが、それに先立ち3月9日には、SKLV内の施設で南九州畜産獣医学拠点開設記念式典が盛大に挙行されました。鹿児島大学病院では、令和2年3月より着工した外来診療棟・病棟（A棟）が令和6年1月に竣工したことを記念して、3月9日に竣工記念式典・祝賀会を挙行了しました。同棟は、鉄骨鉄筋コンクリート造・免震構造の地下1階・地上8階建てで、本院の敷地のほぼ中央に位置し、手術部のある中央診療棟や救急集中治療棟、病棟（B棟・C棟）等との連携を図り、病院機能を強化する役割を担います。また、令和5年4月より着工したアメニティ施設（施設名称「さくらびあ」）が令和6年2月に竣工、4月1日にオープンすることを受け、3月27日に竣工式を挙行了しました。

以上、簡単ですが、大学全体としての近況をお伝えしました。

皆様のご健勝と今後ますますのご発展を祈念するとともに、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

鹿児島大学の近況

－進取の気風あふれる総合大学－

(2023年11月から2024年4月までのトピックス)

<学校行事>

○令和5年度卒業式・修了式を挙行 ～ご卒業・修了おめでとうございます！～（3月25日）

3月25日、令和5年度（第72回）鹿児島大学卒業式・修了式が鹿児島県総合体育センター体育館において挙行されました。

今年度の卒業・修了生は、学部卒業生1,823名、大学院修了生549名の計2,372名です。

式では、佐野輝学長が、各学部からの代表者9名、各修士課程・各博士課程からの代表者12名、計21名に学位記を授与しました。続いて、鹿児島大学稲盛賞、鹿児島大学工業倶楽部賞および鹿児島大学商工会議所会頭賞を各受賞代表者に授与しました。

本学を卒業・修了される皆様、本当におめでとうございます。

これから、社会を力強く牽引するリーダーとして活躍・大成されることを期待しております。

○令和6年度入学式を挙行～ご入学おめでとうございます～（4月5日）

4月5日、鹿児島県総合体育センター体育館において、令和6年度入学式を挙行しました。

今年度の入学生は、学部入学生1,918名、大学院入学生590名の計2,508名です。

式では、佐野輝学長による入学許可の後、学部と大学院それぞれを代表し、新田杏菜さん（理学部）と吉原知子さん（共同獣医学研究科）の2名が入学生宣誓を行いました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんがこれから鹿児島大学で自らをいっそう鍛え、大きく成長されますことを教職員一同願っています。

<協定締結>

【法文】十島村と一般社団法人宝島及び国立大学法人鹿児島大学法文学部との連携・協力に関する協定書締結式を挙行（11月24日）

11月16日、法文学部では十島村役場において、十島村と一般社団法人宝島及び国立大学法人鹿児島大学法文学部との連携・協力に関する協定書締結式を挙行しました。

本協定は、十島村と一般社団法人宝島、法文学部が十島村の地域課題の解決および地域活性化に貢献できる人材育成を推進することを目的としたものです。

【大学】鹿児島大学と与論町、清水建設株式会社が連携協定を締結（12月15日）

－地域課題の解決や新たな価値の創出に資する人財育成及び事業創出を目指す－

鹿児島大学と与論町、清水建設株式会社は、12月5日に連携協定を締結しました。

今後三者が産学官連携協働による多様な視点や角度から与論町の地域課題をとらえ、それぞれの強みを活かし、新たな価値創出に資する人財育成及び事業の創出が、継続的に実現する「与論モデル」を構築し、与論町の持続可能な島づくりに取り組んで参ります。

【大学】「薩摩川内市を中心としたサーキュラーエコノミー実証事業の推進に向けた連携協定」を締結（2月20日）

2月16日、本学と九州電力株式会社（代表取締役執行役員 池辺和弘）、サーキュラーパーク九州株式会社（代表取締役 春木優）及び薩摩川内市（市長 田中良二）の4者は、薩摩川内市を中心に行う循環経済と脱炭素化の推進による持続可能な社会の構築を目指す事業（サーキュラーエコノミー実証事業）の実施に関して、4者がそれぞれ保有する資源を活用し、連携協力して具体的な取組を推進することを目的として、協定を締結しました。

本協定に基づき、4者によるサーキュラーエコノミー実証事業を推進していくこととしております。

【防災セ】地域防災教育研究センターと鹿児島地方気象台が包括連携協定を締結（3月12日）

地域防災教育研究センター（センター長 地頭蘭隆）と鹿児島地方気象台（台長 菅野智之）は、自然災害から県民の生命や財産を守り、防災・減災に貢献することを目的として包括連携協定を締結しました。

本センターと鹿児島地方気象台は、これまでも連携して、講演会や防災教育に取り組んできましたが、今回の包括連携協定では互いの資源や人材、機能を活用し、防災や災害の課題解決を目指すことから、さらなる連携協力の強化が期待されます。

【獣医】鹿児島県畜産業におけるGX推進及び産業振興に向けた連携協定を締結（4月8日）

令和6年4月2日、鹿児島大学共同獣医学部は、鹿児島県、味の素株式会社、県内畜産関係団体・事業者（8機関）、金融機関（2機関）と「鹿児島県畜産業におけるGX推進及び産業振興に向けた連携協定」を締結しました。

本協定は、栄養吸収率を高める飼料用アミノ酸を活用して、牛から排出される温室効果ガスの削減及び生産コストの低減・生産性の向上を図ることにより、鹿児島県畜産業におけるGXを推進するとともに、同産業の振興を図ることを目的としたもので、飼料用アミノ酸の給与試験の実施、試験結果の共有・発表及び普及促進、鹿児島県産牛肉・生乳等の付加価値向上による鹿児島県畜産業の振興等に取り組むものです。

今後、各機関がそれぞれの強みを活かし緊密に連携することにより、本県における畜産業のGX及び産業振興が推進されることが期待されます。

<被災地支援>

令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。鹿児島大学病院では、要請を受けて、被災された能登半島地域へ向けて、職員を派遣しました。

●令和6年能登半島地震に係る鹿児島大学病院災害派遣精神医療チーム（DPAT）先遣隊及び災害時感染症支援チーム（DICT）医師を被災地へ派遣（1月16日）

石川県からの派遣要請を受けて、災害時に精神科医療の提供や被災した人の心のケアにあたる医療チームとして、災害派遣精神医療チーム（DPAT）先遣隊3名と、避難所における感染対策支援などを行う、災害時感染症支援チーム（DICT）の医師1名を派遣しました。

●令和6年能登半島地震に係る鹿児島大学病院災害派遣医療チーム（DMAT）を被災地へ派遣（1月23日）

石川県から厚生労働省DMAT事務局を通じて、鹿児島県に対し災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣要請があり、DMAT隊4名（医師1名、看護師2名、臨床工学技士1名）を派遣しました。

●令和6年能登半島地震に係る日本医師会災害医療チーム（JMAT）医師を被災地へ派遣（1月30日）

鹿児島県医師会より協力要請を受け、鹿児島市医師会病院が編成する日本医師会災害医療チーム（JMAT）の一員として、医師2名を派遣しました。

●令和6年能登半島地震災害における日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）活動への医師派遣について（2月2日）

日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）から派遣要請を受けた鹿児島JRATより活動参加への協力依頼があり、鹿児島大学病院より医師1名を派遣することが決まりました。

●令和6年能登半島地震に係る日本医師会災害医療チーム（JMAT）医師を被災地へ派遣（2月27日）

鹿児島県医師会より協力要請を受け、社会医療法人聖医会サザン・リージョン病院が編成する日本医師会災害医療チームJMATの一員として、医師1名を派遣しました。

<大学の取組み>

☆日本経済新聞「大学の地域貢献度調査」で総合5位、分野別では「SDGs・グローバル」1位、「学生・住民」2位を獲得（11月14日）

日本経済新聞社が全国765大学（回答518大学）を対象に行った「大学の地域貢献度調査2023」の結果が

日経グローバル（11月6日発行号）で公表され、鹿児島大学は前回（2021年）の総合7位から総合5位に順位を上げました。

分野別ランキングでは、「組織・制度」が51位、「学生・住民」が2位（国立大学1位）、「企業・行政」が9位、「SDGs・グローバル」が1位という高い評価を得ました。

鹿児島大学は地域とともに社会の発展に貢献する大学として、今後も地域貢献活動を推進してまいります。

一 SDGs 関係 一

鹿児島大学は、南九州の「知（地）の拠点」として、これまで蓄えてきた教育研究活動の成果、また進行形で実施している様々な教育研究活動や取組から生まれる様々な分野における「知の力」を発揮し、「オール鹿大」でSDGs達成の推進に取り組んでいます。

□あまみSDGs推進パートナーに登録しました（11月14日）

この度、SDGs推進及び地域貢献の一環として奄美市SDGs推進プラットフォームに参画し、あまみSDGs推進パートナーとなりました。

パートナー登録を機に奄美市SDGs推進プラットフォームの一員として奄美地域におけるSDGs推進にさらに貢献します。

□かごしまSDGs推進パートナーに登録されました（11月28日）

この度、鹿児島市がSDGsの推進を通じて地域課題の解決等に取り組む鹿児島市内の事業所等をパートナーとして登録する「かごしまSDGs推進パートナー」に登録されました。

パートナー登録を機にかごしまSDGs推進パートナーの一員として、今後鹿児島市におけるSDGsのさらなる推進に向けて、取り組みます。

<施設関係>

【獣医】南九州畜産獣医学拠点開設記念式典を挙行（3月14日）

2024年4月にオープンする曾於市の南九州畜産獣医学拠点（通称SKLV＝スクラブ）は、産業動物モデル飼育エリア（次世代閉鎖型牛舎・研究用鶏舎等）、地方創生エリア（講義室（双方向遠隔講義システム設置）・宿泊施設・カフェスペース・レンタルオフィス等）、馬エリア（厩舎・屋内外馬場・馬トレッキングコース等）の3つのエリアからなり、産学官の共同事業者が連携して事業を推進します。地方創生エリアや馬エリアの一部施設は、一般の方も利用できます。

鹿児島大学は、SKLVにおいて、その中核となる共同獣医学部附属南九州畜産獣医学教育研究センターを設置し、全国の獣医系大学が抱える産業動物の獣医学教育の実習先不足を解消するため、全国から獣医学部生を受入れ、産業動物の臨床獣医学と動物衛生学に関する欧米水準（欧州獣医学教育機関協会＝EAEEVの認証）の参加型実習プログラムや、我が国の畜産を支える産業動物獣医師の技能向上に資する自己研鑽プログラムを提供します。また、地域の畜産農家や企業等の産業動物疾病予防制御の高度化や地域診療等を通じて、疾病に強い地域畜産の発展や交流人口創出による地域の活性化にも貢献します。

【病院】鹿児島大学病院 外来診療棟・病棟（A棟）竣工記念式典・祝賀会を開催（3月14日）

このたび、令和2年3月より着工した外来診療棟・病棟（A棟）が令和6年1月に竣工したことを記念して、3月9日に竣工記念式典・祝賀会を挙行了しました。

同棟は、鉄骨鉄筋コンクリート造 免震構造の地下1階・地上8階建てで、本院の敷地のほぼ中央に位置し、手術部のある中央診療棟や救急集中治療棟、病棟（B棟・C棟）等との連携を図り、病院機能を強化する役割を担います。

鹿児島大学病院は、外来診療棟・病棟（A棟）竣工を新たなスタートとし、次の50年へ向けて、使命と情熱を持って、信頼され安心して受診いただける病院を目指して参ります。

【病院】鹿児島大学病院アメンティ施設「さくらびあ」竣工式を挙行了しました（4月1日）

このたび、令和5年4月より着工したアメンティ施設（施設名称「さくらびあ」）が令和6年2月に竣工、4月1日にオープンすることを受け、3月27日に竣工式を挙行了しました。

「人と人、病院と市民のつながりを生み出す施設」のコンセプトの下、初めて訪れた人にも分かりやすいエントランスを中心とした平面計画で設計されており、施設名称「さくらびあ」の桜をモチーフとした明るい色彩を基調とした建物となっています。

教職員の受賞等 所属/氏名/受賞等 (掲載日)

- ①共同獣医学部附属越境性動物疾病制御研究 (TAD) センター/松本祐介准教授/日本ウイルス学会杉浦奨励賞 (11月14日)
- ②水産学部・工学部・鹿児島大学練習船かごしま丸及び南生丸/「海洋ビックデータを利用したモジャコ漁スマート化技術開発」が、鹿児島Digi-1グランプリ2023オープンの部 準グランプリ (11月28日)
- ③先端科学研究推進センター (CASRaP) /尾上昌平技術専門員/「11th Pacific Rim International Conference on Advanced Materials and Processing」 Best Poster Award (ポスター賞) (12月8日)
- ④共同獣医学部/高橋香助教/第23回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 優秀賞・協賛企業賞 (JR九州グループ賞) (12月8日)

学生の表彰等 所属・学年/氏名/受賞等 (掲載日)

- ①共同獣医学部3年/久保田詩渚さん/九州地区獣医師会連合会長賞
共同獣医学部6年/Ramos Barbaraさん/日本産業動物獣医学会奨励賞 (11月15日)
- ②理工学研究科工学専攻情報・生体システム工学プログラム1年/永井裕也さん・小野智司教授/2023年度人工知能学会全国大会 (第37回) 全国大会優秀賞 (11月17日)
- ③教育学部美術科3年/東那奈さん/第78回南日本美術展秀作賞・新人賞
教育学部3年/平山美優姫さん/第78回南日本美術展入選 (11月20日)
- ④理工学研究科工学専攻化学生命工学プログラム博士前期課程2年/福吉安寿実さん・村田光紀さん・松尾詩織さん、博士前期課程1年/宮原雄太さん・福井志笑さん、理学部化学プログラム3年/橋本大輔さん/鹿児島大学-ノースダコタ州立大学 (米国、大学間協定校) 合同シンポジウム「8th KU-NDSU Joint Symposium on Biotechnology, Nanomaterials, and Polymers」Award for the excellent student poster presentation (優秀ポスター発表賞) (11月30日)
- ⑤農林水産学研究科食品創成科学専攻/榊原夢未さん・小田莉央さん/第28回日本フードファクター学会 Young Investigator Award (YIA) (12月5日)
- ⑥理工学研究科工学専攻化学生命工学プログラム博士前期課程2年/藺田佳菜子さん/令和5年度九州地区高分子若手研究会・冬の後援会 優秀ポスター賞 (12月8日)
- ⑦医学部1年/山内沙耶子さん・古城こころさん/第19回「話してみよう韓国語」鹿児島大会2023/一般スキット部門 最優秀賞
法文学部1年/有銘慧さん、法文学部3年/渡部麗音さん/優秀賞
法文学部2年/大峯千夏さん/スピーチ部門 奨励賞 (12月13日)
- ⑧理学部4年/小瀬日奈子さん/第67回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会 ベストプレゼンテーション賞 (12月18日)
- ⑨理工学研究科工学専攻化学生命工学プログラム博士前期課程2年/村田光紀さん・藺田佳菜子さん・中川純さん/「2023 Taiwan-Japan Bilateral Workshop (2023 TJBW)」Excellent Poster Presentation Award (優秀ポスター発表賞) (1月12日)
- ⑩理工学研究科博士前期課程2年/柳田浩嗣さん/筆頭著者である論文が、2023年度日本地震学会論文賞 (3月28日)
- ⑪農学部畜産科学コース3年/石橋果歩さん/第16回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会 個人総合4位 (4月3日)

海外の大学等からの学長表敬訪問 (訪問日)

- ①マレーシア大使館教育研修部のイムラン・ビン・ユソフ参事官が、工学部と理工学研究科を訪問 (11月8日)
- ②中国雲南農業大学の魏紅江副学長 (本学連合農学研究科修了) 一行が佐野輝学長を表敬訪問 (12月20日)
- ③コルスンスキー・セルギー駐日ウクライナ特命全権大使が佐野輝学長を表敬訪問 (1月25日)
- ④ハリヴ ジェピー駐日南アフリカ共和国大使館公使が佐野輝学長を表敬訪問 (1月26日)
- ⑤清華大学の楊 斌 (ヤン・ビン) 副学長一行が佐野学長を表敬訪問 (3月15日)
- ⑥欧州獣医学教育機関協会 (EAEVE; European Association of Establishments for Veterinary Education) のステファン マルチノ会長が、佐野輝学長を表敬訪問 (3月15日)

<以上、鹿児島大学ホームページから転載>

※ページ数の関係で一部抜粋して掲載しております。

各学部同窓会活動報告

法文学部同窓会

1. 令和5年度法文学部卒業祝賀会・同窓会入会式開催

令和6年3月25日（月）11時～12時30分まで鹿児島大学卒業式が鹿児島県総合体育センター体育館にて挙行されました。卒業式終了後、午後2時から令和5年度法文学部卒業祝賀会及び同窓会入会式を法文学部201号教室（人文）と203号教室（法経社会・大学院）で開催しました。

まず、各コースの総代に卒業証書が授与され、松田忠大法文学部長から式辞、今村同窓会長から祝辞があり、人文学科心理学コースの長野史歩さんから卒業生・修了生代表謝辞がありました。

法文学部同窓会表彰では法経社会学科法学コースの柴田龍平さんと法経社会学科地域社会コースの田中栄紀さんに表彰状と記念品が贈られました。

その後、卒業生の皆さんに卒業証書と卒業記念品（同窓会・後援会提供）が授与されました。なお、今年も卒業生に、同窓会と後援会から軽食と飲み物の提供をしました。



卒業証書授与



代表謝辞、長野史歩さん(心理学)

2. 第22回鹿大北辰（文理・法文・理学部卒業生）ゴルフ会コンペ開催

令和6年2月24日（土）第22回鹿大北辰（文理・法文・理学部卒業生）ゴルフ会コンペが南国カンツリークラブで開催されました。当日は3日連休の谷間の日でかねてよりやや少なめの27名の参加でした。優勝は昭和53年法文学部法学科卒の畠野秀之さんでした。成績は以下のとおりです。

優勝	畠野 秀之（S53年、法文学部法学科卒）	ネット	72.2
2位	小比賀史彦（S53年、法文学部経済学科卒）	ネット	73.4
3位	堀ノ内達也（H10年、法文学部経済学科卒）	ネット	74.0
4位	平 啓博（S50年、理学部卒）	ネット	74.2
5位	今原 和郎（S50年、法文学部経済学科卒）	ネット	74.4
ベストグロス	今原 和郎（S50年、法文学部経済学科卒）	グロス	84

* 次回は令和6年10月19日（土）、南国カンツリークラブです。

多数の参加よろしくお祈りします。

申し込みは今村会長（携帯090-1870-8661）か

南国カンツリークラブ（電話099-243-1121）まで。

大盛会 第1回 教岳会ゴルフ大会

R 5. 10. 28 (土) 南国CC



絶好のゴルフ日和の下、80名の「我が友」が旧交を温め合い、和気あいあいとした中で数々の熱戦が展開された。
プレーの合間には懐かしい昔話の花があちらこちらで咲いた模様。



満面笑顔の優勝者 西原さん



ベストグロス賞 池水さん



最高齢者賞 箸野さん



キャディーバッグゲット 藏元さん

栄えある優勝は西原英邦さん(小学校課程 S.49卒)
<グロス96 ネット72.0>

表彰状に加えて副賞の缶ビール1ケースと新米5kgを
ゲットし、閉会式で満面の喜びを語った。

ベストグロスは池水喜仁さん(高体 S.45卒)

グロス78の好スコア。エージシュートに後1打だっ
た。実に惜しい。今年こそはと再挑戦するとのこと。

5位までの入賞者は、準優勝：西園正敏さん、3位：
山住哲郎さん、4位：日高孝さん、5位：田口卓朗さ
ん。詳しくは教育学部のホームページをご覧ください。

表彰は競技の部だけでなく、特別賞や大抽選会などあ
り数々の賞品や景品が提供された。

今大会の最高齢：箸野守大先輩(87歳)に最高齢者
賞。最年少は現役の校長さん5名の代表に最年少賞を。
女性5名に彩り賞、熊本市から参加の方に遠隔賞、25年
記念大賞として25位の方に特別賞を授与した。

最後の目玉イベントは大抽選会。ビール、焼酎等景品
は数々。今回の最高の景品であるキャディーバッグを射
止めたのは藏元義裕さん(S.45卒)だった。

好評につき、今年も第2回の教岳
会ゴルフ大会を実施します。

○ 期日：R 6. 10. 26 (土)

○ 会場：南国CC

○ 経費：12,000円

(プレー代・参加費込み)

○ 参加者数：80名を想定



8/31締め切り

(文責：実行委員長 末弘絃一)

教育学部附属学校園の施設整備、教育環境、先導的研究・実践及び教育実習等を支援する「教育学部
附属学校園基金」へのご支援を心よりお願い申し上げます。(鹿児島大学)

理学部同窓会南明会関西支部設立

理学部同窓会南明会関西支部

会長 若松 操 (昭48年・化学)

鹿児島大学理学部同窓会南明会関西支部を2024年2月3日に設立しましたので報告致します。

南明会関西支部は、2020年2月29日に設立発起人会を開催し、設立に向けた取り組みを歩み始めた途端、コロナまん延による社会状況の変化により停滞していましたが、この度2月3日(土)に、新大阪ワシントンホテルプラザにて21名の会員により設立総会を挙行し、会則・活動計画・役員選任が審議・承認され設立致しました。

当日は、顧問の小小学部長からの心温まるメッセージや山下副会長、内海副会長に加え工学部同窓会石田覚様からのご挨拶を頂き、会員一同身の引き締まる思いを再確認しました。また、懇親会にあたっては、関東支部の古川会長、伊藤幹事長のご挨拶や、有馬代表幹事から「新入生対象の同窓会案内」をビデオで流してもらい、懐かしい理学部風景や親御さんへの温かいメッセージを聞かせてもらいました。その後、会員の皆さんの元気な近況報告スピーチを聞きながら、いつの間にか懐かしい学生時代に戻っていました。そして最後は、締め「北辰斜め」を全員で吟唱してお開きとなりました。

今後は、関西支部としての世代間交流や南明会本部、関東支部との交流をベースに何か鹿児島大学や現役学生のお役に立つことが少しでもできないかと活動していきたく思います。

また、来年2025年5月には、第1回総会を開催すべく準備を進めていきます。

今後とも皆さまのご指導・ご鞭撻・ご協力をよろしくお願い致します。



鹿児島大学理学部同窓会 南明会

関西支部設立総会

2024年2月3日

新大阪ワシントンホテルプラザ

医学部同窓会

医学科同窓会鶴陵会

～部局を超えて～

既に広報されているように「日本経済新聞社と日経HRによる企業の人事担当者からみた大学イメージ調査」において大学の取り組みランキング全国1位、更には日本経済新聞社による「大学の地域貢献度調査」においてSDGs・グローバルランキング1位をはじめ鹿児島大学は対外的に実に高い評価を受けている。その視点で鹿児島大学を眺めてみると郡元・下荒田・桜ヶ丘キャンパスを母体として天の川銀河研究センター、国際島嶼研究センター奄美分室、地域医療支援大島分室、徳之島サテライト教室、与論水産実験室、附属練習船南星丸、附属練習船かごしま丸、海洋資源環境教育研究センター東町ステーション（長島）、入来牧場、唐湊果樹園、指宿植物試験場、南九州畜産獣医学拠点、高隈演習林、稲森アカデミーベトナム事務所・・・と蒼々たる施設群と学生、職員の活躍の姿が見えてくる。将に南日本の知の拠点であり、なるほど、全国1位の評価を受けてしかるべきであると感じる。一方、我々医学科の活躍ぶりも、国家試験の新卒者合格率99.9%（国立大学43校中3位）と好成績であったばかりでなく、現在開催中の九州・山口医科学学生体育大会の成績も準硬式野球部優勝、サッカー部優勝、男子バスケットボール部準優勝、男子バレーボール部3位・・・と大活躍のニュースが入ってくる。しかし、自分の部局を超えて本学の発展に誇りを感じるようになった自分に改めて気付くのである。長年同窓会連合会会長をお務めいただいた故江口正純先生と代表幹事として仕事をご一緒させていただいたのはかけがえのない思い出である。いただいたお言葉の折々に鹿児島大学への思いやりがあった。「一人では何もできない。でも誰かが始めなければ何も始まらない」と言っておられた。「リーダーの資質」とはそういうものであるに違いない。ペリーが黒船に乗って現れた時、西郷、大久保は20代だったそうである（南日本新聞 南風録より）。二人はこれからの日本はどうあるべきかと身体を震わせた。鹿児島大学の後輩達にこのような気概を持って頑張っていて欲しいと願う。

（文責：医学科同窓会鶴陵会副会長 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 橋口照人）

保健学科同窓会

気が付けば対面での同窓会の開催を3年も行なっておりませんでした。ようやくwebで各学年の同窓会委員と話し合い、今年久しぶりの対面での同窓会を本年6月に企画しました。多くの方に参加してもらいたい、そんな気持ちもありますがこの3年間のコロナ禍の影響はやはり大きく、人の集まりは悪いです。しかしともかくにも、「開催することに意義がある！」のスローガンの元、開催する運びとなりました。

さて今回の同窓会の集まる人数と申しますと、なんと45名（予定）も集まることとなりました。開催まで3ヶ月前というタイトなスケジュールでしたが、半分以上が卒業10年以内という若い卒業生が参加してくださる予定で大変うれしく思います。若い卒業生が参加してきてよかったな、と思える会にできたらと思います。

若い人たちが参加してくれる会である一方、ここ2年間の卒業生の同窓会加入人数が少なくなってきており寂しい思いもしております。コロナ禍で上下関係や教員の先生方との距離ができ学校に対する思いや思い出が少なくなっていることが一因かなと感じております。しかしながら、今回同窓会に入っていない方も、いずれまた入ってもいいかなと思ったときに入会してもらえよう、いつでも門戸を開いている会でありたいと思います。

これからの同窓会の役割や可能性を今回の会でも話し合い、実りのある会にしていきたいと思っております。

（文責：保健学科同窓会理学療法専攻部会 会長 宮崎雅司）

医学部医学科の教育の充実や施設・環境整備、地域または国際医療人の育成等に関する事業を支援する「医学部医学科教育基金」へのご支援を心よりお願い申し上げます。（鹿児島大学）

歯学部同窓会

現在の歯学部同窓会執行部は、令和5年4月1日より谷口浩太郎を会長として発足しました。

<Fun for all>をキャッチフレーズとしてかけ、同窓会に関係する全ての方々が楽しみを共有できるような同窓会を目指し、早1年余りが経過しました。

予算や事業の見直しなど様々な問題に直面した1年でしたが、同窓生や後に続く後輩達に貢献できかつ楽しんで参加してもらえるような同窓会になるべく、さらに邁進していきたいと思っております。

主な活動報告

令和5年

9月 鹿児島大学歯学部教授会との協議会

9月 StudentDentist認定証授与式&白衣贈呈式（歯学部学生）

10月 歯学部同窓会会報誌32号発刊

10月 第75回九州歯科医学大会参加（宮崎）

11月 進路相談会・懇親会

11月 令和5年度歯学部同窓会総会・学術講演会・懇親会・親睦ゴルフコンペ

令和6年

2月 卒後研修会学術セミナー

2月 DeeR WOMAN 女性歯科医師交流会

3月 令和5年度第2回評議員会

○ 令和5年9月22日 Student Dentist (SD) 認定証授与式&白衣贈呈式

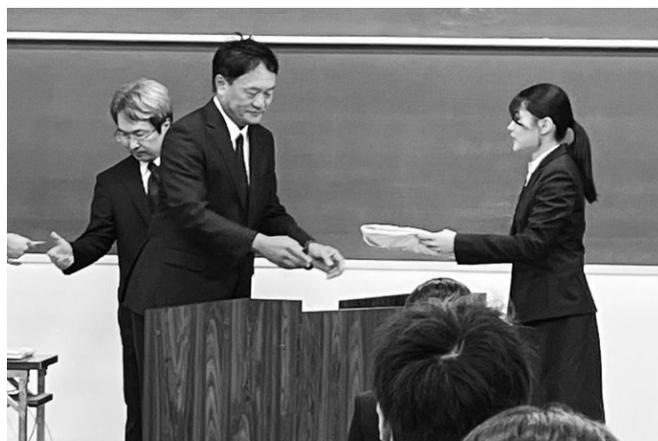
歯学部5年次臨床実習開始前に、学部の定めた履修要件を満たした学生に対して知識と技能に関する全国統一の共用試験（CBT、OSCE）が行われ、これに合格した者をStudent Dentistといたします。

この日は認定証が授与され、同窓会からは白衣を寄贈させていただきました。

SDとなった学生さんは、実習とはいえ法的にも医療行為を認められたこととなります。

学生代表からは、実習に向けて力強い決意表明も聞かれました。

実習に協力してくださる患者様への感謝の気持ちを忘れずに、たくさんのことを学んでほしいものです。



（文責：歯学部同窓会広報担当 永瀬幸治）

歯学部の教育・研究活動の充実や施設・環境整備、国際医療人育成等に関する事業を支援する「歯学部基金」へのご支援を心よりお願い申し上げます。（鹿児島大学）

工学部同窓会

令和5年度の工学部同窓会の主な活動内容について、以下にご報告いたします。

鹿児島大学工学部同窓会評議会・講演会・総会・懇親会

令和6年3月16日（土）、中原別荘（鹿児島市）で開催されました。工学部は5つの同窓会で構成されています。本会は3年毎に開催されていますが、令和3年度はコロナ感染症予防対策のため書面形式で実施されたため、対面形式では6年振りの開催にも関わらず、52名の参加がありました。

評議会と総会では、庶務・編集・会計・幹事報告があり、特に同窓会費クレジット決済導入についてはこれまでの経緯と状況について詳細に説明がなされ、本件の効率的な運用について審議しました。また、新役員（令和6年度から令和8年度）の選出と承認がなされました。講演会では木方十根工学部長から世界の大学キャンパスと建築という演題でご講演いただき、木方先生が歴訪してきた世界中の大学における面白いキャンパス、魅力的な建築をご紹介いただきました。懇親会では、参加者からの近況報告などもあり、久しぶりの再会を喜び、楽しく歓談いたしました。

（文責：工学部同窓会編集幹事 長山昭夫）



工学部同窓会評議会・講演会・総会・懇親会



木方十根工学部長による講演会



懇親会での万歳三唱

工学部及び理工学研究科工学系のイノベーションを生み出す先端的・学際的・総合的な教育研究を支援する「**工学部教育研究支援基金**」へのご支援を心よりお願い申し上げます。（鹿児島大学）

農学部あらた同窓会

1. あらた同窓会会報令和6年春季号（一般会員向け会報）を発行しました。

あらた同窓会では毎年2回会報（一般会員向け春季号と学生会員向け秋季号）を発行しています。令和6年3月25日には「あらた同窓会報令和6年春季号（一般会員向け会報）」を発行いたしました（右写真）。例年どおり「あらた同窓会長の巻頭言」、「農学部長のご挨拶」、「定年退職される先生方のご挨拶」、「会員からの寄稿（エッセーなど）」、「学生便り（卒業・修了にあたって）」および「本部だより（あらた同窓会の活動や会計について詳細に記載）」など38ページの会報を発行できました。

この春季号は農学部の学生・院生、教員の他、80歳以上の会員および終身会員（現在はこの制度はありません）、過去5年以内に会費納入をいただいている会員に加えて「会費納入の無い昭和43年から5年ごとの卒業生で住所が判明している会員」に郵送いたしました。詳細な内容は、あらた同窓会HP（<https://aratadousokai.org/>）でお読みいただけます。



2. 令和5年度卒業・修了祝賀会を開催しました（令和6年3月25日）。

3月25日、令和5年度（第72回）鹿児島大学卒業式・修了式が鹿児島県総合体育センター体育館において挙行されました。同日午後から農学部とあらた同窓会の共催により「農学部・農林水産学研究科（農学系）卒業・修了祝賀会」を農・獣医共通棟101号教室において盛大に開催しました（右写真）。「新型コロナウイルス」の影響で5年ぶりの開催となりました。本年度の農学部卒業生は192名、院修了生は62名でした。祝賀会の写真は「あらた同窓会HP（<https://aratadousokai.org/>）」のギャラリーページ（<https://aratadousokai.org/gallery/>）からご覧ください。



令和5年度卒業・修了祝賀会（3/25）

3. 「あらた同窓会」主催の新入生茶話会を開催しました（令和6年4月3日）。

令和6年4月3日（水）に「令和6年度農学部新入生オリエンテーション」が開催されました。今年の新入生は（農学科167人、国際食料資源学特別コース14人）、3年次編入5人でした。オリエンテーションでは「あらた同窓会」の紹介をしながら入会金の納入促進をお願いしました。

午後3時から「あらた同窓会主催」の新入生茶話会を開催しました。ほぼ全員の新生と先生方に出席していただき、和気あいあいとしたとても良い雰囲気でした。次年度以降も継続したいものです。オリエンテーションと茶話会の写真は「あらた同窓会HP（<https://aratadousokai.org/>）」のギャラリーページ（<https://aratadousokai.org/gallery/>）からご覧ください。



令和6年度農学部新入生茶話会（4/3）

水産学部同窓会魚水会

学位記授与式、魚水会賞授与式

令和6年(2024)3月25日(月)に鹿児島大学卒業・修了式が鹿児島県総合体育センター体育館で挙行されました。式終了後には水産学部にて学位記授与式、魚水会賞授与式が開催され、成績優秀者4名に魚水会賞、令和5年度より新たに設立した留学生を対象とした魚水会国際賞に留学生1名が選ばれ、賞状と記念品を授与しました。全卒業生には記念品の掛時計を贈呈しました。



左より
西隆一郎学部長
(魚水会国際賞)
金潤秀さん(韓国)
(魚水会賞)
椎葉望実さん、上田紘弥さん
石川斉さん、小湊菜央さん
岩元善巳魚水会会長



あいにく雨になり講義室における記念撮影になりました

同窓会誌魚水第78号令和6年(2024)新年号発刊

同窓会誌魚水第78号令和6年新年号を1月に発刊しました。編集委員には記事や編集が偏らないように学内、学外に限らず女性4名を含む80代から二十歳前後の学生4名までの29名がボランティアで頑張っています。

原稿は日本国内にとどまらず外国や全国の会員や学生などから募集しています。表紙は時々のタイムリーな写真を採用しています。

魚水会全国理事会を開催

令和6年(2024)5月18日(土)水産学部大会議室にて全国より理事が出席し、全国相談役会・理事会を開催しました。来年度の80周年記念総会開催などの議題について活発な意見が繰り広げられました。

魚水会ホームページのリニューアル

令和5年12月にホームページをリニューアルしました。

水産学部附属練習船を用いた教育、研究、社会・国際貢献の充実や練習船の環境整備等に関する事業を支援する「練習船基金」へのご支援を心よりお願い申し上げます。(鹿児島大学)

共同獣医学部紫友同窓会

令和5（2023）年11月から令和6（2024）年5月までの学部および同窓会の活動についてご報告します。

1. 欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）のステファン・マルチノ会長が大学視察

3月14、15日は、大学構内および曾於市の南九州畜産獣医学拠点（SKLV）を視察され、最後に教員に対し講評して頂きました。また滞在期間中に、佐野輝学長へ表敬訪問されました。（写真は、左から三角一浩学部長（当時）、佐野輝学長、有村卓朗教授、右がステファン・マルチノ会長）



2. 令和5年度 卒業式および学位授与式

令和6年3月25日には32名の学部卒業生と3名の学位（博士）授与者が巣立って行きました。新型コロナウイルス感染症もほぼ収まり、午前中には鹿児島県総合体育センター体育館にて保護者の参加も認められて行われました。午後からは、共同獣医学研究科（博士課程）と共同獣医学部（学士課程）の学位授与式がそれぞれ行われました。学部卒業生には、鶴田勉同窓会会長からお祝いとお励ましのお言葉を頂き、ベストクラスメート賞に代わり、今回は全員に記念品を贈呈致しました。

3. 南九州畜産獣医学拠点（SKLV）の開設

4月1日には曾於市財部町の県立財部高校跡地に、SKLVが開設致しました。「動物福祉に配慮した畜産農場の先進的モデル」等の施設を活用して、より大きな参加型実習の場を作り、自大学のみならず他大学からも獣医学や畜産学を学ぶ学生を受け入れ、また畜産獣医学の技術者のリスクリソング研修も担う予定です。それに先立つ3月9日には五位塚剛曾於市長と佐野輝鹿児島大学長をはじめ、来賓の森山裕衆議院議員、池田貴城文部科学省高等教育局長等のほか、約250人の関係者が出席し、完成を祝いました。



4. 新入生の入会歓迎

4月5日には鹿児島県総合体育センター体育館にて保護者の参加を伴う学部学生と大学院生の入学式が行われました。令和6年度からは、共同獣医学部に畜産学科を新設し、共同獣医学科との2学科制となりました。両学科とも前年度に比べ、出願者が増えて厳しい選抜試験となりました。鶴田勉会長からは新入生に対し、歓迎の祝辞および同窓会の紹介を行って頂きました。

鹿児島大学共同獣医学部は、令和6年4月で開設12年目を迎えました。欧米水準の獣医学教育を目標に教育改革を進めており、今後も欧州獣医学機関協会（EAEVE）による獣医学教育評価の認証を維持していくことで、我が国における獣医学教育改革を先導していく所存です。

動物病院の病院設備の充実や環境整備、獣医療従事者等に関する事業を支援する「動物病院基金」、畜産・獣医技術者の教育研究の充実や研修に関する事業等を支援する「SKLVセンター基金」へのご支援を心よりお願い申し上げます。（鹿児島大学）

各支部の活動報告

【関東支部】

鹿児島大学同窓会連合会関東支部活動報告

日頃より関東支部同窓会活動に多大なご協力・ご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

関東支部では2020年10月に総会開催で準備を行っていましたが、「コロナ禍」の影響により中止せざるを得ない状況となりました。その間は各学部同窓会の活動や関係団体との連携など可能な範囲で活動を継続してまいりました。

そして、昨年10月28日に幹事会を再開し、本年10月19日（土）に関東支部総会・講演会・懇親会を「TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原」で開催する運びとなりました。現在、総会・講演会・懇親会の成功に向けて毎月幹事会を開催しています。

ところで、関東支部活動方針は、以下の4つの柱から構成されています。

1. 同窓会総会・講演会の開催
2. 鹿児島大学、鹿児島大学本部同窓会との連携及び協力
3. 各学部同窓会間の交流及び連携
4. その他事業活動

「その他事業活動」では、公益社団法人三州倶楽部と連携し、(1) 講演会・勉強会への関東在住OB・OGへの案内と交流促進の機会提供を、(2) 在校生を対象とした海外派遣事業や海外県人会とのオンライン交流会の案内を、また、(3) 旧制高校の寮歌を歌い継ぎ伝統を継承する「日本寮歌祭」（2024年11月24日（日）開催）などの活動に取り組んでいます。

関東支部では「活動に参加してください」ではなく、「参加することが楽しい、自分自身の成長につながる」と実感できる会の運営に努めてまいります。

『私たちの母校は歴史と伝統に培われた総合大学でその潜在的な力は計り知れないものがあるという矜持を持つことが重要』と考えます。そのために会の活動を前進させていく所存であります。



4/27幹事会後の懇親会

(文責：事務局長 郷原剛)

【福岡支部】

福岡支部総会 福岡「北辰斜の会」2024

令和6年2月17日（土）、アークホテルロイヤル福岡天神（福岡市）で開催されました。

総会には、富永茂人同窓会連合会長および佐野輝鹿児島大学長をゲストに迎え、錦水会（工学部電気系学科）、鶴陵会（医学部）、あらた会（農学部）、機友会（工学部機械系学科）、黎明会（法文学部）、しらなみ会（工学部海洋土木工学科）、教育学部から約60名が参加しました。

総会に引き続き、株式会社トヨタ車体研究所の久富あすか氏（2021年大学院理工学研究科博士後期課程修了）を講師に迎え、「AI技術の産業界への応用～トヨタ車体研究所の事例について～」講演が行われました。

講演会終了後には懇親会が行われ、本年度当番の権藤正信錦水会福岡支部長の挨拶、同会最年長の武宮宣博氏の発声による乾杯に始まり、同窓会支部グループごとの近況報告等もあり、終始和やかな雰囲気の中での歓談となりました。全員での写真撮影後、錦水会蓮尾紀博氏の「巻頭言」に続き、「北辰斜に（大正4年第七高等学校第14回記念祭歌）」を全員で熱唱し、小山一民名誉会長による「博多手一本」で締め、盛会のうちに終了しました。

毎年2月に開催されております福岡「北辰斜の会」、福岡地区在住・在勤の卒業生や修了生のご参加をお待ちしております。



総会の模様



講演会の模様



集合写真

▶特別寄稿◀

モンスターラディッシュと呼ばれた“桜島大根”

農学部・研究教授
加治屋 勝子

2013年9月に鹿児島大学農学部に着任することになり、家族を引き連れて鹿児島に引っ越してきた日はドカ灰でした。私は鹿児島県出身ですが、南薩摩地方（加世田市）に住んでいたため火山灰が飛んで来ることは滅多に無く、桜島の大歓迎を受けて「生活できるのかしら？」と途方に暮れました。よもや研究面で桜島にお世話になるとは露ほども思っていませんでした。

私は、前職（山口大学医学部）時代から血管を健全に保つための研究をしてきました。日本は長寿の国として世界的にも認められていますが、寿命を全うするまで健康を維持できているのか？と問うた時に、平均寿命と健康寿命*の間にある約10年の不健康な期間が「長生きすることは本当に幸せなのか」と考えるキッカケとなりました。この不健康期間をできるだけ短くして“健やかに老いる”ために、全身を巡る血管こそ健康の要と考え、「食」を使った予防法の確立を目指しています。*健康寿命：健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。

健康な血管はしなやかに伸び縮みし、心臓と協力して血液を輸送していますが、硬くなった血管は伸び縮みしにくくなり血行不良を引き起こします。この小さな血行不良が、冷え症や片頭痛の原因となったり、高血圧や動脈硬化を併発したり、致命的な心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす恐れもあります。そのため、血管本来の機能を向上させる食材の探索を目標に掲げました。しかしながら、当時、研究レベルで正確にリアルタイムに血管内皮機能を細胞レベルで測定する手段がなく、無ければ作るしかないと考え、様々な企業に事情を説明して協力を仰ぎましたが、無理だと断られ続けました。「捨てる神あれば拾う神あり」とはよく言ったもので、浜松ホトニクス株式会社の協力を得て、蛍光・化学発光同時計測装置で測定方法を確立し、共同特許を取得しました（特許第7016107号）。こうして、血管内皮機能を向上させる食材探しがスタートしたのです。先入観を排除するため測定試料は番号管理し、植物、海産物、畜産物など可食部はもとより非可食部も含め約300種類について血管内皮細胞の反応を調べ続けましたが、そう簡単には理想の食材には出会えず年月が過ぎていきました。ある日、血管内皮細胞がこれまで見たこともない反応を示したため測定試料番号と食材リストを照合したところ、鹿児島県の特産物である「桜島大根」だったのです。こんな身近に健康食材があったことに驚くと同時に運命を感じました。

桜島大根は、2003年に重さは31.1 kgで世界一大きな大根としてギネス認定されましたが、2023年にジャンボ大根（45.865kg）にその座を奪われてしまいました。よく見かける青首大根が1本約1kg程度ですので、約30本分に相当すると考えると桜島大根もなかなかのものです。これまで桜島大根の健康機能性に関する研究は皆無でしたので、私は桜島大根のチカラを解き明かすことにしました。桜島大根には血管内皮細胞の働きを助ける「トリゴネリン」という機能性成分が非常に多く含まれていることを突き止め、その仕組みについて分子・細胞レベルで研究を積み重ね、この成果は英文誌に掲載され、光栄なことにその表紙を飾ることができました。さらには世界最大の科学系学術団体であるアメリカ化学会から、桜島大根の常識外の大きさと私共が発見した新しい成果を‘Monster radish’（モンスター大根）という言葉で全世界にプレスリリースされ、トリゴネリンが血管の健全化に関与することは世界初の発見となりました。その後、品種や産地の違い、調理・加工特性、ヒト試験などをおこない、一人でもたくさんの人に桜島大根を食べてもらいたいという思いが強くなり、県や自治体、企業や生産者を巻き込んで様々な普及活動をおこなっています。また、桜島大根の研究成果を活用するために、鹿児島大学認定ベンチャーを立ち上げ、鹿児島大学からも多大なる支援をいただいています。健康で寿命を全うできるよう、同窓会の皆様にもぜひ桜島大根を食べていただければ幸いです。



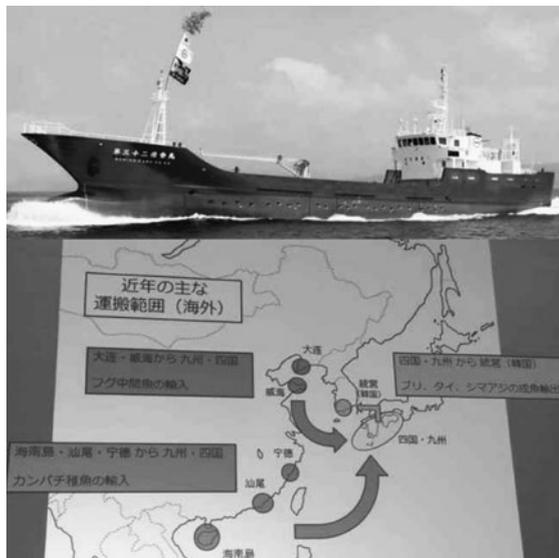
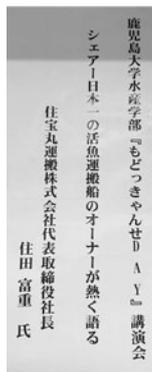
渾身のチカラで桜島大根を収穫する次女

▶特別寄稿◀

『もどっきゃんせ DAY』(Home Coming Day) 4年振り開催 活魚運搬船が無いと今の海面養殖は成り立たない！！

(シェア日本一の活魚運搬船のオーナーが熱く語る)

昨年、令和5年(2023)12月6日(水)に住宝丸活魚運搬株式会社 代表取締役社長 住田富重氏(昭57航海・58専)にお願いし、いつものように手弁当で講演していただきました。



プロジェクターを使って熱心に語る住田社長
プロフィール：住宝丸活魚運搬(株)代表取締役
愛媛県活魚運搬組合代表理事組合長
愛媛県立宇和島水産高校同窓会玉洋会前会長
宇和島ライオンズクラブ会長など要職多数
鹿兒島大学カッター部 OB キャプテン

鹿兒島大学水産学部を昭和57年に卒業。昭和58年に専攻科を修了し航海士の免許を取得、同時に家業の活魚運搬会社に就職。就職後すぐに、社長である父が急逝し後を引き継ぐ。一杯船主だった会社の所有船舶を着実に増やし、次第に日本の活魚運搬船の70%ほどを占めるシェア日本一の会社に成長させた。

住宝丸活魚船はグループ全体で300トンから600トンの船を11隻所有。10トン活魚トラックも33台保有。現在、ブリ、カンパチ、鯛などの成魚を首都圏や関西近郊に運搬。国内の養殖マグロはほとんど運んでいる。鯉一本釣りの餌用カタクチイワシの輸送などにも力を発揮。韓国へは四国や天草から養殖鯛を、中国海南島などからカンパチ稚魚を南九州などに運搬。福島の処理水放出前は中国への活魚の輸出入などに寄与した。

午後4時半から水産学部23号大講義室にてたくさんのOB、業界関係者、大学生、大学院生などに活魚運搬の歴史などを織り交せて講演された。

まず以前放映されたフジテレビの『運搬千鳥』をプロジェクターに映し説明し、その後、宇和島の活魚運搬船の歴史について説明。陸上輸送が発達していない時代、リアス式海岸の西四国地区で10トン前後の小さな船で鮮魚を買い付け、それを関西の市場などに運んで販売していたこと。真珠養殖が盛んになり徐々に大型化し、昭和39年(1964)の東京オリンピック、昭和45年(1970)の大阪万博で活魚需要がピークになったことなどを解説。今や活魚運搬船が無いと日本の海面養殖は成り立たない所まで来ています。今後とも頑張って維持して行って欲しいものです。学生さん達も大変勉強になったものと思います。



32号大講義室で住田さんの講演に聞き入る満員の聴衆



コロナ真っ最中の頃、『今を切り抜ければ、十分に生き残れる』とポジティブに社員や業界関係者に檄を飛ばす住田社長
(愛媛新聞掲載)

住田さんはコロナ禍の中でも明るく活動していました。また運搬中、魚槽内で激突死してしまうマグロなどが多かったのを持ち前の探求心で、壁に茶色の大きな網模様を付け、イケスの中のように錯覚させることを発明し、死滅を劇的に防ぐことに成功。今では、他の会社にも情報を公開し水族館などにも利用され大変助かっているそうです。

*物流の2024年問題で活魚のトラック輸送が難しくなると、活魚運搬船の輸送が大きな力を発揮すると思われます。

もどきゃんせDAY 懇親会



ベトナムから帰国直後の西学部長の乾杯の音頭で開宴し、和やかな中に楽しい時間を過ごしました。

初めにベトナム出張から帰国直後の西隆一郎学部長に挨拶してもらい、乾杯の音頭で開宴しました。学生（飲酒の関係で3年生以上）やOB、業界関係者、教職員と懇親を深めました。

最後は今でも元気なカッター部OBの横田榮佑氏（昭42増）の一本締めで締めました。



かごしま丸パラオ遠洋航海で漁獲したキハダマグロを西学部長が買って贈呈、他にOBや業界関係者から新鮮な魚をいただき、みんなでお造りにしました。
今、話題の宇和島のジャコテンを住田さんが差し入れていただき食べきれないほどのご馳走に学生さんも大満足。

※もどきゃんせ DAY (Home Coming Day) とは水産学部と魚水会共催で年に1回、卒業生、在学生、教職員などとの交流を深める為の企画で魚水会の経費により実施しています。前回は令和元年(2019)11月20日(水)に東日本大震災で甚大な被害を受けて、奇跡的に復活した岩手県の小野食品(株)の小野明男社長(昭54食)にお願いしました。それからコロナ感染症の為に4年振りの開催となりました。それ以前は東京都中央区新川で食品卸の大京食品(株)の窪田洋司氏(昭32製)などにお願いしました。

令和6年度 鹿児島大学同窓会連合会総会・懇親会～卒業生の集い～を開催

4月6日（土）、アートホテル鹿児島において、令和6年度鹿児島大学同窓会連合会総会ならびに懇親会～卒業生の集い～が開催されました。

総会では、以下の事項について協議が行われました。協議終了後、「～鹿児島大学の現状と展望～」と題して、佐野輝鹿児島大学長の講演が行われました。

その後の懇親会～卒業生の集い～には約110名が出席し、各学部同窓会の近況報告や出席者紹介などが行われ、盛会のうちに終了しました。

<総会協議事項>

- 1 開会のあいさつ
- 2 鹿児島大学同窓会連合会長のあいさつ 富永茂人 会長
- 3 鹿児島大学長のあいさつ 佐野輝 学長
- 4 協議
 - 1) 役員交代について
 - 2) 令和5年度事業報告（案）
 - 3) 令和5年度収支決算（案）
 - 4) 令和5年度監査報告
 - 5) 令和6年度事業計画（案）
 - 6) 令和6年度収支予算（案）
 - 7) その他
- 5 鹿児島大学長講演
- 6 閉会のあいさつ

< 総会・懇親会～卒業生の集い～の様子 >



総会挨拶



総会



懇親会



共同獣医学部



法文学部



教育学部



5年ぶりに「北辰斜に」を大合唱♪

令和5年度一般会計決算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和6年3月31日現在
(単位：円)

収入の部

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考
繰越金	655,203	655,203	0	
学部別同窓会分担金	900,000	900,000	0	
総会・懇親会費	663,300	661,600	▲ 1,700	6,700円×98名分+ 3,000円×1名分(当日欠席者料理代)
OB・OGゴルフ大会協力金	50,000	50,000	0	令和5年度 OB・OG ゴルフ大会
雑収入	5	8	3	利子
繰入金	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
合 計	2,268,508	2,266,811	▲ 1,697	

支出の部

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考	
会議費	120,000	89,535	▲ 30,465	幹事会・役員会	
総会・懇親会費	900,000	790,982	▲ 109,018	総会会場費・懇親会費	
印刷費	450,000	499,620	49,620	会報36号、37号(支部分含む。)	
事務費	備品費	10,000	0	▲ 10,000	
	通信運搬費	30,000	27,215	▲ 2,785	郵送料、振込手数料
	消耗品など	10,000	2,324	▲ 7,676	封筒等
旅費	130,000	30,480	▲ 99,520	福岡支部総会(会長)・関東支部総会(延期)	
雑費	10,000	1,100	▲ 8,900	残高証明手数料	
慶弔費	30,000	0	▲ 30,000		
予備費	578,508	20,800	▲ 557,708	「きばいやんせ鹿大生! 2023」打合せ会経費	
合 計	2,268,508	1,462,056	▲ 806,452		

次年度繰越金：2,266,811-1,462,056=804,755円

令和5年度定期貯金決算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

通帳(郵便定期)	400,000
郵便定期貯金利息	268
合 計	400,268

令和6年度一般会計予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位：円)

収入の部

項目	前期決算額 (A)	予算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考
繰越金	655,203	804,755	149,552	令和5年度繰越金
学部別同窓会分担金	900,000	900,000	0	振込手数料は振込者負担
総会・懇親会費	661,600	763,000	101,400	109名×7,000円
OB・OGゴルフ大会協力金	50,000	50,000	0	
雑収入	8	5	▲3	利子
繰入金	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
合 計	2,266,811	2,517,760	250,949	

支出の部

項目	前期決算額 (A)	予算額 (B)	増減 (B) - (A)	備考	
会議費	89,535	100,000	10,465	役員会・幹事会	
総会・懇親会費	790,982	1,055,000	264,018	総会会場費・懇親会費	
印刷費	499,620	500,000	380	会報38号、39号(支部分含む)	
事務費	備品費	0	10,000	10,000	
	通信運搬費	27,215	30,000	2,785	郵送料、振込手数料
	消耗品など	2,324	10,000	7,676	
旅費	30,480	130,000	99,520	福岡支部総会【毎年開催】・関東支部総会【3年毎開催】(会長)	
雑費	1,100	10,000	8,900		
慶弔費	0	30,000	30,000		
予備費	20,800	642,760	621,960		
合 計	1,462,056	2,517,760	1,055,704		

令和6年度定期貯金予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

通帳(郵便定期)	400,268
郵便定期貯金利息	32
合 計	400,300

鹿児島大学同窓会連合会事務局並びに各学部同窓会の連絡先

鹿児島大学同窓会連合会事務局

〒890-8580
鹿児島市郡元1-21-24
鹿児島大学総務部総務課広報・渉外室基金・渉外係
TEL 099-285-3101 FAX 099-285-3854
e-mail kikin-sg@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学法文学部同窓会

〒890-0065
鹿児島市郡元1-21-30
鹿児島大学法文学部同窓会事務局
TEL 099-250-3211 FAX 099-285-3573
e-mail dousoukai@leh.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学教育学部同窓会

〒890-0065
鹿児島市郡元1-20-6
鹿児島大学教育学部事務局内
TEL・FAX 099-285-7718
e-mail dousou@edu.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学理学部同窓会南明会

〒890-0065
鹿児島市郡元1-21-35
鹿児島大学理学部同窓会事務局
TEL 099-285-8925
e-mail dosokai@sci.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学医学部同窓会

〒890-0075
鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
鹿児島大学医学部医学科同窓会鶴陵会事務局
TEL 099-275-6881 FAX 099-265-9784
e-mail kakuryo@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学歯学部同窓会

〒890-8544
鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
鹿児島大学歯学部内
鹿児島大学歯学部同窓会事務局
TEL・FAX 099-264-1600
e-mail kashidousou@dent.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学工学部同窓会

〒890-0065
鹿児島市郡元1-21-40
鹿児島大学工学部同窓会事務局
TEL・FAX 099-285-3494
e-mail kadai.eng.dousoukai@gmail.com

鹿児島大学農学部あらた同窓会

〒890-0065
鹿児島市郡元1-21-24
鹿児島大学農学部あらた同窓会事務局
TEL・FAX 099-285-8537
e-mail aratakai@aratadousokai.org

鹿児島大学水産学部同窓会魚水会

〒890-0056
鹿児島市下荒田4-50-20
鹿児島大学水産学部同窓会魚水会事務局
TEL・FAX 099-286-4080
e-mail gyosui@fish.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学共同獣医学部紫友同窓会

〒890-0065
鹿児島市郡元1-21-24
鹿児島大学共同獣医学部紫友同窓会事務局
TEL 099-285-8731
e-mail shiyu_dousoukai@vet.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学同窓会連合会

〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24
鹿児島大学総務部総務課広報・渉外室基金・渉外係
TEL 099-285-3101 FAX 099-285-3854
e-mail kikin-sg@kuas.kagoshima-u.ac.jp

印刷 株式会社鹿児島新生社印刷
〒891-0132 鹿児島市七ツ島1-3-21
TEL 099-261-0111 FAX 099-261-3100
e-mail kagoshima@shinsei-p.co.jp

鹿大「進取の精神」支援基金へのご寄附のお願い

鹿大「進取の精神」支援基金には、各学部活動報告下部にてお願いさせていただきました基金以外にも

・一般資金 ・修学支援事業基金 ・鹿児島大学病院基金

がございます。皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。（鹿児島大学）

